

講 演 欄

會 長 就 任 演 説

會 長 梶 井 剛

(昭和十三年一月二十九日於第十二回通常總會)

今回圖らずも電氣通信學會の會長として御推舉を戴きました、就任致すことになりましたが、本來私はその任にある者ではないのでありますて、今後この學會が躍進して行く際に當つて、私の如き者が會長になつて充分學會それ自身の目的を達し得るかといふことを非常に危んでゐるのであります。然し他の役員の方々及び多數の會員の方々の御援助、御鞭撻に依りましてこの學會の發展を圖るために努力を盡す覺悟でありますから、どうか宜しく會員各位の絶大なる御後援をお願ひ致したいと存じます。擇て會長に就任致すと同時に御挨拶を致す慣例になつて居りますのですが、最近旅行致しましたために、充分の準備を整へることが出来ませぬので、本夕申上げますことも、甚だ粗雑なことが多いと存じますが、暫くの御清聴を煩したいと思ひます。

この非常時局に於ける電氣通信事業の使命に對する自覺と申しますか、我が國の東洋に於ける使命遂行の上に於て、電氣通信事業に携つて居ります吾々の覺悟と申しますか、さういふ點につきまして申上げたいと考へるのであります。

東洋に於ける電氣通信事業の現状につきましては曾つて支那に參りまして後にお話したことがありますので、改めてこゝで繰返しは致しませぬが、現在東洋に於ける通信事業の本體は、我が國を除きましては、殆んど歐米諸外國の權益として現存してゐるのでありますて、これに對して對立すべき何等の具體的政策といふものが無いであります。隨つて東洋に於ける電氣通信が歐米の羈絆を脱して、我が國が根幹となつてその獨立を確保することが最も必要なでありますて、この事が我が東洋民族の共存共榮或は東洋の平和といふことに對して、非常な貢獻をするものと吾々は考へてゐるのであります。隨つて我が國と致しましても、我が國を中心としたところの東洋に於ける通信政策といふものが總てのことの先驅となつて、一日も速かにその大目的が貫徹されることを私は望んでゐるのであります。この目的遂行を吾々は念願と致しまして、以

前から微力を盡して參つてゐるのであります、その一端と致しましては、從來我が國に於ては歐米の技術に大部分依存して居つたが、我が國自らの獨創的技術を工風するといふことに對して力を致さなければならぬと感じたのであります。また從來歐米の形式のものを多く採用して居りまする結果、我が國の通信機器材料の製造工業といふものは、依然として歐米の指導を受けなければならないであります。この製造工業を發達せしめて、我が國の技術に基いたところの形式のものを續々生産するといふやうにしなければならないであります。また斯して出來たところの製品が單に我が國に於ける歐米製品の輸入を杜絶せしめるといふやうな消極的目的でなく、進んで外國に製品が進出致しまして、歐米製品と競爭し、これに打ち勝つといふ優秀さを持たなければならぬと吾々は考へたのであります。然しこのことは一朝にしてなるものではないのでありますて、數十年の努力が積み重なり、又非常に多數の技術者の研究調査が集つて、初めて成るものでありますて、今日に於て直ちにその目的が貫徹されるとは思つて居らないであります。

然るに今回圖らずも支那事變が勃發致しまして、我が國の國勢が東亞に於て非常に進展するといふやうな情勢に立ち到つたのであります。從來支那と日本との關係といふものは、既に各方面に於て唱へられて居りますやうに、日支親善或は共存共榮といふ目標から、通信方面に於きましても日支間の連繫といふことについて再々ならず交渉を重ねて來て居つたのであります。不幸にしまして今まで或は應ずるが如く、或は應ぜざるが如き態度を持せられて、遂に充分の解決を得て居らないであります。然るにこの事變の勃發に對しまして從來の曖昧なる態度を持して居つたところの蔣介石政權は没落致しまして、新たに日支親善を第一の目的とするところの新政權が生れて来るならばこれ等の問題は直ちに解決し得るのではないかといふ風に想像せられるであります。隨つて再び東洋に於て平和が回復せられた際に於て、この我が國の通信政

策の実行といふことが極めて容易になるのであります。その機會に於て吾々としては從來續け來つたところの努力を一層大ならしめて、その最終の目的に向つて進まなければならぬといふ風に考へてゐるのであります。

然も我が國は御承知の通りに天然資源に極めて乏しいのであります。通信機器材料といふものは、他の種工業に比して天然資源に俟たなければならないことは左程多くはないのでありますけれども、尙ほ天然資源の缺乏に對して充分に不足を満たすことができないといふやうなことがあります。これ等の缺點は技術の進歩發達に依つてこれを補はなければならぬ。さうして東亞に於ける通信技術といふものが歐米と拮抗し得るまで持つてゆかなければならぬといふのであります。自然、通信に關係して居りますところの技術者は、この目的完成の爲に、非常な努力と覺悟を要すると考へてゐるのであります。

電氣通信事業の使命といふことを今更申上げることも要らないとは存じます。既に皆様御承知の通り電氣通信事業といふものは、人類文化の向上を圖るのを目的と致して居ります。また同時に國際親善を目的として居ります。若しこの通信事業が今日の如く發達して居らなかつたならば、地球上の人類といふものは斯の如く文化の發達進展を來してゐないのであらうと思ひます。また斯の如き各國の親善といふものも到底望まれないのであります。然し今日に於きましては世界に於ける電話の九十五パーセントですが、お互に話し得るといふほど連絡ができたのでありますから、この通信事業の發達に依りまして、人類の文化の向上、國際親善といふものが非常に發達せられたものであると認めて居ります。國際間に於て相當に危局といふやうなことも唱へられて居りますけれども、若しこの普及發達がなかつたならばもつと甚だしいであらうと吾々は豫想するのであります。また通信事業といふものは言論政策に於て最も重要なものです。從來言論は文字に依つてなされたのですが、然し斯の如く通信が發達した今日に於ては、言論といふものは電氣通信に依つて廣く世界全般に亘つて行はれてゐるのであります。即ち時に依つては宣傳となり、時に依つては正しい國是を認識せしめるところの道具としてこれは充分に使用せられなければならないのであります。また一朝事が有つた場合には、この通信といふものが軍事上非常に主要な役割をするのであります。今回の支那事變に於てもそのことは屢々實證されてゐるのであります。殊に航空機の發達に依りまして、航

空機が遠距離に飛行致しますには、どうしても電氣通信に據らなければならぬのであります。斯ういふことにつきましては今度の事變中も屢見られたのであります。殊に支那大陸のやうな非常に廣い區域に於て、北から南まで幾百里に亘つて戰線が擴大致して居ります時に當つて、この軍事行動に對する最も重要なものは命令の統一、即ち神經系統が完備してゐなければならぬのであります。電氣通信が從來の戦争に比しまして非常に重要なものであるといふことを當局者も痛感してゐるのであります。寧ろ過去に於ては電氣通信に對して充分の備へがなかつたと認識せられたほどに重要さを持つて來たのであります。然るに我が國に於ては電氣通信に對する認識が歐米各國に於けるやうに判然して居らなかつたのであります。英國が今日世界の四十五パーセントの海底電線網を持ち以て地球上の到る所に在る植民地と連絡致しまして、自國の植民地を擁護してゐるといふことを見ましたならば、電氣通信國策といふものが如何に我が國の國勢伸展に對して必要であるかといふことが當然考へられなければならぬことであります。殊に從來我が國が幾度か戰爭は致しましたけれども、アジア大陸にたゞ單に足を引掛けたに過ぎないのであります。今後に於て滿洲から更に蒙疆、北支、中支、南支といふ風に、漸次その勢力が東洋全體に及ぶに從つて、どうしてもこの通信政策が確立されなければならないのであります。吾々が考へてゐる問題は、日本を中心として東亞に於ける一貫せる通信網の建設といふことにありまして、このことについて可及的速かにこの政策が實現せられんことを望んで止まないのであります。

この事變に伴つて北支に於て新政權が樹立せられ、その新政權の下に一つの通信の體形が出来る筈になつて居ります。また中支に於ても同じやうな事態が生れ出てくるものと吾々は豫想してゐるのであります。斯の如く具體的に個々の事業が出來て來まして、この通信事業を運行してゆくのでありますけれども、從來の如く我が國が單に内地の事業を行つてゐるのならば宜しいが、朝鮮、滿洲、北支、中支といふやうな各地に於ても事業を行ふためにはこれを一貫したところの非常に強固な通信網が作成され、それが我が國の掌中に納められてゐる限り、それ等の國を導いて、東洋の平和を保持してゆくことはできないであります。即ち通信網の一貫といふことが、我が國が東洋平和を確保する上に於て最も大切なことであります。

從來支那の通信權は支那自身の手にはないのであります。この點に於きまして吾々は支那の獨立といふ

ものが、通信といふ政策の上から觀ましても確保せられて居ないと考へるのであります。随つて日本がこれを獨立せしめることに依つて、支那の獨立といふことが確保せられると思ふのであります。餘談に亘りますけれども、支那といふ國は一つの民族に依つて完成せられてゐるのではないであります。漢民族と俗に言はれて居りますけれども、その漢民族は十七の民族から構成せられてゐるのであります。しかもあの廣い地域に散在する民族が異つてゐるばかりでなく、言語風俗に於て異り、その他いろいろな點に於て異つてゐるのであります。随つてこれが一つの國家として統制されるといふことは非常に困難な問題であります。ありますから、將來日本が支那を援助することに依つて、支那に確實な新政權が樹立せられたと致しましても、支那大陸に於ける民族の團結を圖るといふことについては、これらの民族を連繫すべき民族の意思の疎通を充分にならしめる手段、即ち、民族間の通信網が生れて充分にそれを確保することが、支那民族の如き複雑な民族に於ては、絶対に必要な事柄であります。

更に吾々は單に支那のみを考へてゐるのではないであります。佛領印度、シャム、海峽植民地といふ風に、東洋に於ては支那の他にいろいろな民族があるのでありますから、これ等の民族の親睦と連繫を完ふするものは、所謂交通と通信の發達であつて、これに依つて初めて團結が圖られるものと吾々は考へるのであります。さういふ意味に於て我が國に於ける通信國策が非常に必要だといふことを、我が國の政治家が充分に認識せられ、さうして一貫した政策の下に今後指導してゆかれることが非常に必要なことであります。

通信技術といふものは相當に發達してゐるとは言ひながら、まだ今後益々急激に發達すると吾々は思つてゐるのであります。我が國はこの技術の進歩發達を歐米に對して充分拮抗し得るまで高めてゆかない限り、單に通信政策が樹つたからといつて實行することは出來ないのであります。技術者はその中心となり、その基礎となつて、その國策の實行を進めてゆかなければならぬといふ風に考へられるのであります。

次に此の頃の問題として技術者といふものは世間から見まして、待遇が宜しくないといふやうなことをよく言はれてゐるのであります。然し技術者の使命は單に名譽や地位を確得することのみではないであります。技術者の名譽、地位はその人達が生きてある場合に酬ひられるものではないのであります。寧ろその人達が非常に努力して人類の幸福の爲めに圖つた場合その人達の子孫の時代に於きまして、改めて人類がその人に對して與へる感謝の念これが技術者への待遇であります。そのことを認識されまして、この大なる理想の爲めに技術者が擧つて、我が國が東洋平和の確立の基礎を作つてゆくといふことに御努力を願ひたいと思ひます。

吾々のこの學會は技術家の集りであります。技術そのものゝ研鑽を目的と致してゐるのでありますからかゝる有力な團體の者が一致協力を致しまして、さうして電氣通信技術の進歩向上を圖つたならば、必ずや只今申上げましたことが單なる理想空想に終らずして實を結ぶと私は確信するのであります。甚だ抽象的なことを申上げまして、御清聽を煩したのでありますが準備が非常に不行届きであります。お聽き苦しい點につきましては悪からず御諒承を願ひます。